

60062

教科書文庫

6
420
34-1950
01304 49949

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

C Y M

© Kodak, 2007 TM: Kodak

inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 1

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5

文 部 省 検 定 済 教 科 書

あたらしいりか

小学二年

61 啓林館 小理 210

改訂学習指導要領準拠



啓 林 館

中央図書館



もくじ

はらがきた.....2-3	とりのいれ.....42-43
させつ だまり.....4-5	のうかのどうぐ.....44-45
はるのたね13.....6-7	きゅこん うえ.....46-47
おちのいさも.....8-9	のりもののはやし.....48-49
かたつむり.....10-11	さかいのはこぶか.....50-51
さんさ.....12-13	さかいのはたらき.....52-53
めだか.....14-15	火.....54-55
じゃがいも.....16-17	冬のえいせい.....56-57
田うえ.....18-19	冬のいさも.....58-59
おうちのだうぐ.....20-21	お正月.....60-61
山のぼり.....22-23	ゆきふり.....62-63
たべもの.....24-25	冬のこうがい.....64-65
なつのくさ.....26-27	おんどけい.....66-67
水あそび.....28-29	かがみ.....68-69
たいふう.....30-31	れんず.....70-71
あきのいろ.....32-33	じしゃく.....72-73
おほしさま.....34-35	させつあて.....74-75
きのこどり.....36-37	ぼくのせり.....76-77
たねのちりかた.....38-39	わたしのせり.....78-79
とりのなかま.....40-41	させつあわせ.....80-



広島大学図書

0130449949



昭和26年 月 日 文部省検定済 小学校理科用

あたらしいりか

小学二年

内藤 卯三郎
松原 益太
永田 義夫
松本 武夫
共編



啓林館

はるがきた

のやまの みどり

さいた さくら

むぎばたけ

なの はな

まいた 日を、
かいて おきましょう。

いくにち したら、
めが できますか。

はるの おがわ

たなびく かすみ

冬の きものは、
もう しまいましょう。

てぶくろも いっしょに
しまいましょう。

きせつだより



五月五日のこどもの日
は、か、こ、い、つ、ご、え、ん
は、が、い、が、あ、り、ま、す、も
ら、ん、か、い、が、あ、り、ま、す、も
ら、ん、の、つ、つ、た、は、こ、に、お、も
と、ま、す、か、ら、み、ん、な、で、み、に
ご、ま、す、か、ら、み、ん、な、で、み、に
き、ん、だ、さ、し
四月二十日

はる
四月
四月
四月
はる
四月
四月
四月
はる
四月
四月
四月

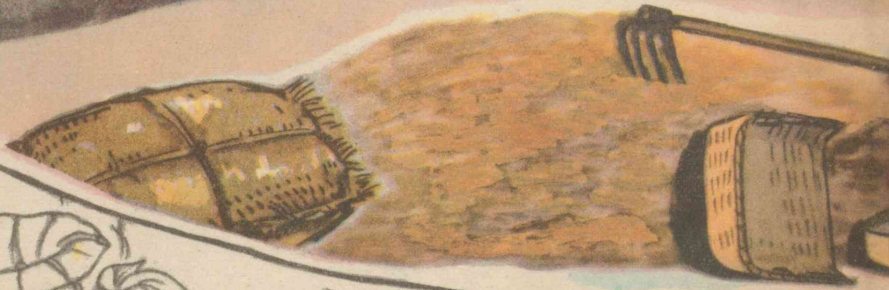


はる
四月
四月
四月
はる
四月
四月
四月
はる
四月
四月
四月

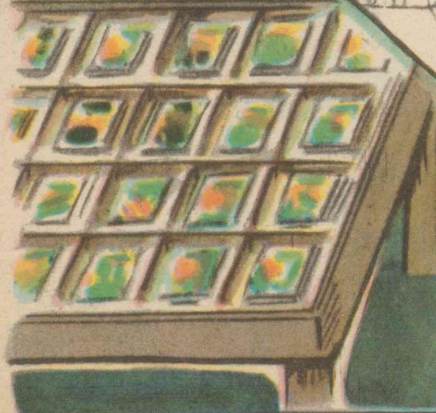
あき
九月
十一月
あき
九月
十一月
あき
九月
十一月
あき
九月
十一月
あき
九月
十一月



はるの たねまき



春まきたね



おとうさんが、たねまきのしたくをしていらっ
しゃいます。

わたくしたちも、おはなの
たねを、まきましょう。

おとうさん、こやしを
すこしいただきますよ。

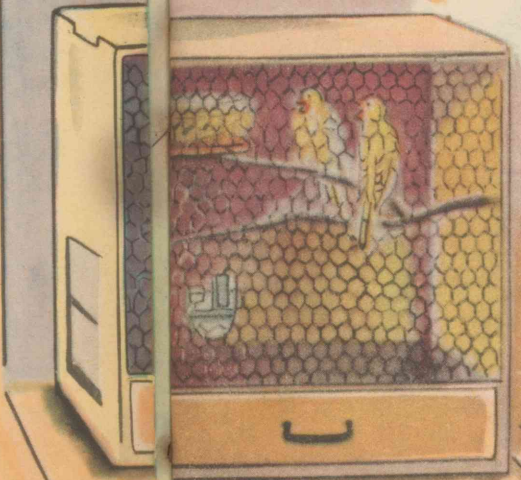


おうちの いきもの



やぎ

そのいきものは、なにでしょう。
 たまごをうみますか。……うみません。
 ねずみをとりますか。……とりません。
 うさぎより大きいですか。
 ………大きいでしょうね。
 くさをたべますか。
 ………くさはたべません。
 ほえますか。
 ………ほえます。
 ああ、わかりました。



ねこ

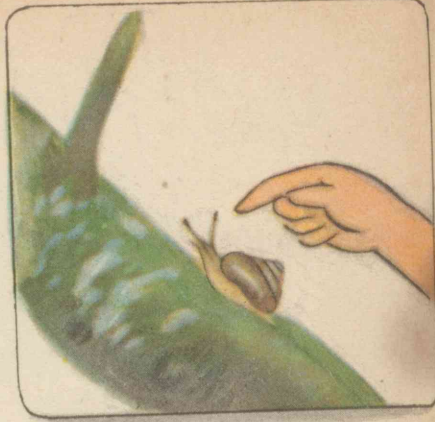


おもと



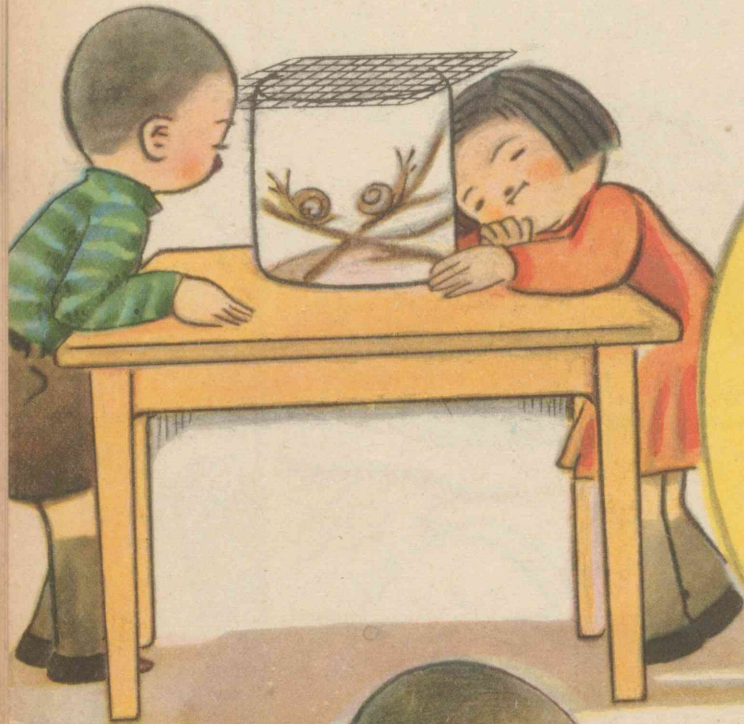
かたつむり

かたつむり 見つけた。
 大きな はちに かってみよう。
 そろり そろりと つの だした。
 なにを どうして たべるだろう。

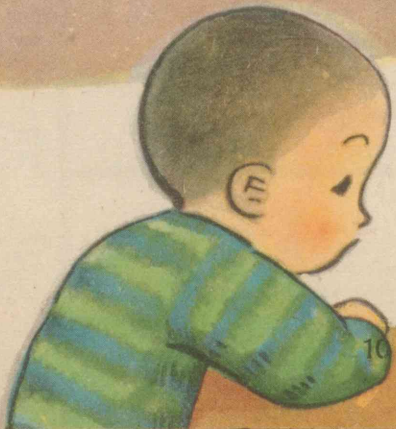


つのに ちょっと さわ
 ったら、さわった つの
 を ひっこめた。
 りょうほう さわると
 まるぼうず。
 おやおや、じょうずに
 まきこんだ。

一つの えだに
 かみ まいて
 水で ぬらして
 おきました。
 どちらの みちを
 いくだろう。
 みていた いもとも
 くび まげた。



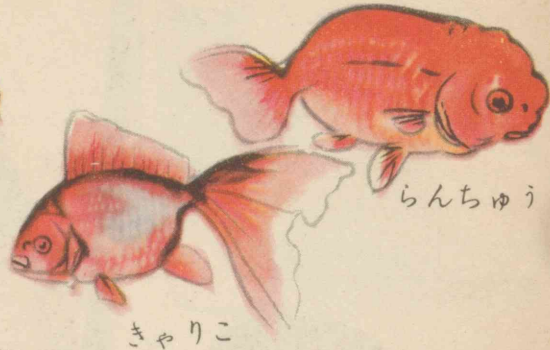
よいい どん、すたあと
 かたつむり。
 大きな おうちが
 おもくても、
 ゆっくり いそがず
 わきみせず、
 やすむな まけるな
 ころげるな。



きんぎよ

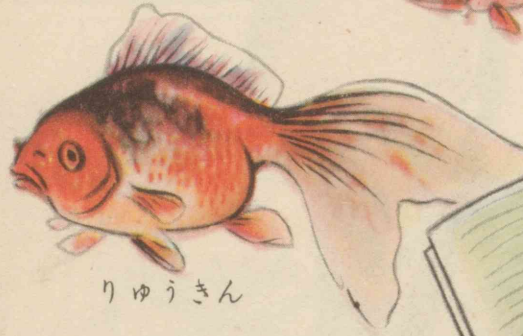


でめきん



らんちゆう

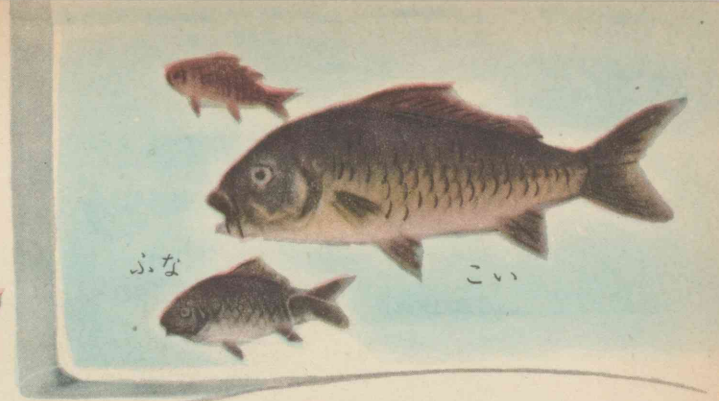
きやりこ



りゆうきん



わきん



ふな

こい



きんぎよ

きんぎよの ひれが、
ゆらゆら ゆれる。

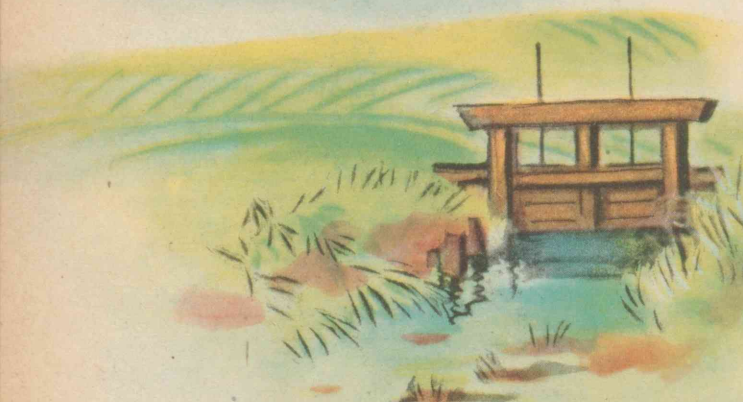
水の中でも
かぜが ふくだらうか。

きんぎよの 口が
ぱくぱく うごく。

よる ひる たべて
いるだらうか。



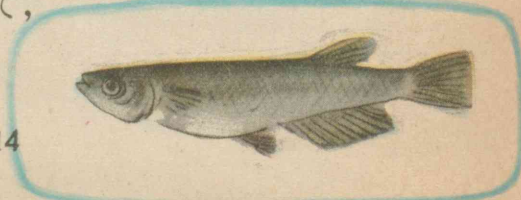
めだか



ぼくたちは、おおぜい いっしょに、
たんぼの 水の中、うまれました。
大きなめだまの ある あたまを
ならべて、
ひなたぼっこ
を しました。

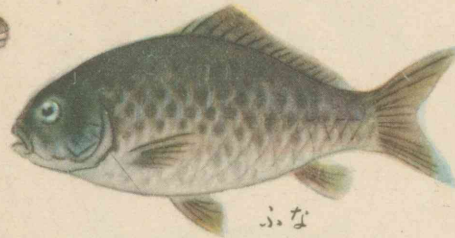
なかまだと おもっていた
おたまじゃくしは、いつか
あしが できて、いなく
なりました。

大きくなる、川に でて、
およぎ まわります。



らいぎよ

なかまの うちには、
ほかの 大きな さかなの
えさになつたのも あります。



ふな



どじょう

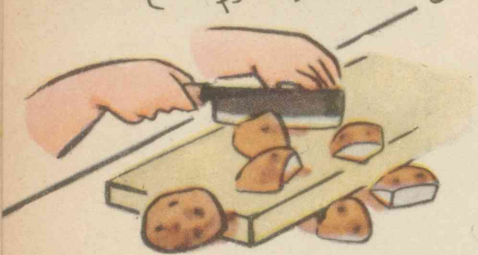
はらが あかく ないので、
どじょうとは、ちがいます。
からだか ふとく ないので、
ふなとも、ちがいます。

大きな はちで、水くさと
いっしょにおれば、ふゆに
なつても げんきです。



ぼうふらを、よろ
こんで たべます。

じゃがいも



めをつけてきる。
きりくちにはいをつける。



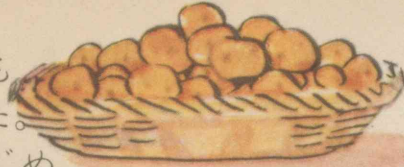
めがのびる。ねがでる。



わきめをつむ。



じゃがいも
いつうえた。
はるのはじめ。

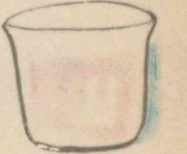


ひやく日 たたないのに
こんなにとれた。

すっておろす。



水に入れて
かきまわし、
ふくろでこす。



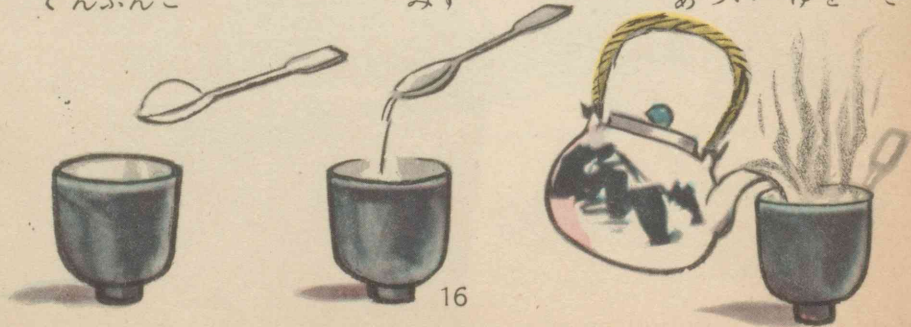
うえのほうのすんだ水を
すてて、かわかすと、白い
でんぷんこがとれます。



でんぷんこ

みず

あついゆをさす。



でんぷんこにして、あかちゃんにも
あげよう。

さとう

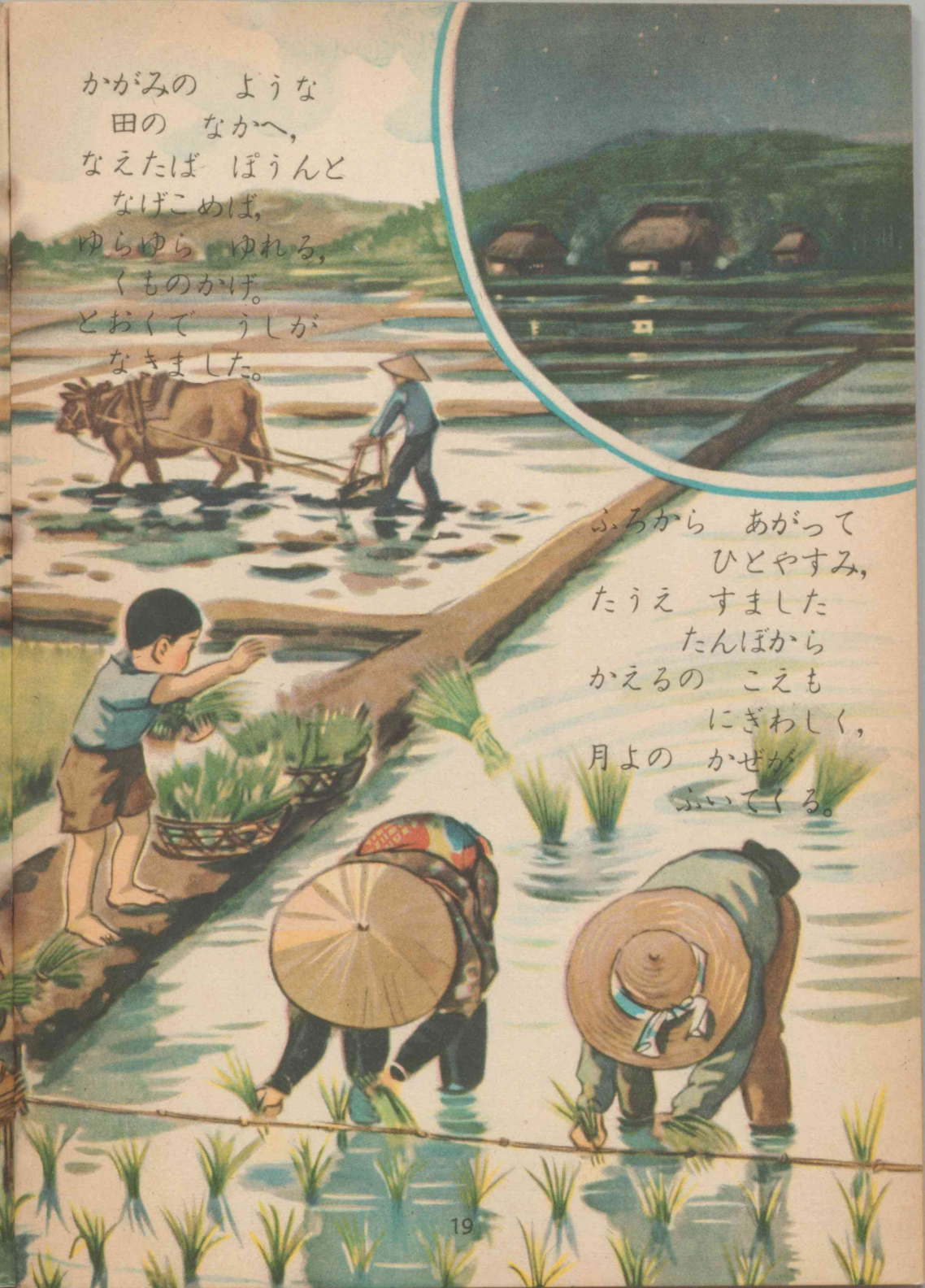


田うえ

田をすくとうさん
どろまみれ。
にいさんげんきな
田うえうた。
ぼくもなえたば
はこびましょう。
おっとすべるぞ、
あぜのみち。



かがみの ような
田の なかへ、
なえたば ぼうんと
なげこめば、
ゆらゆら ゆれる、
くものかげ。
どおくで うしが
なきました。

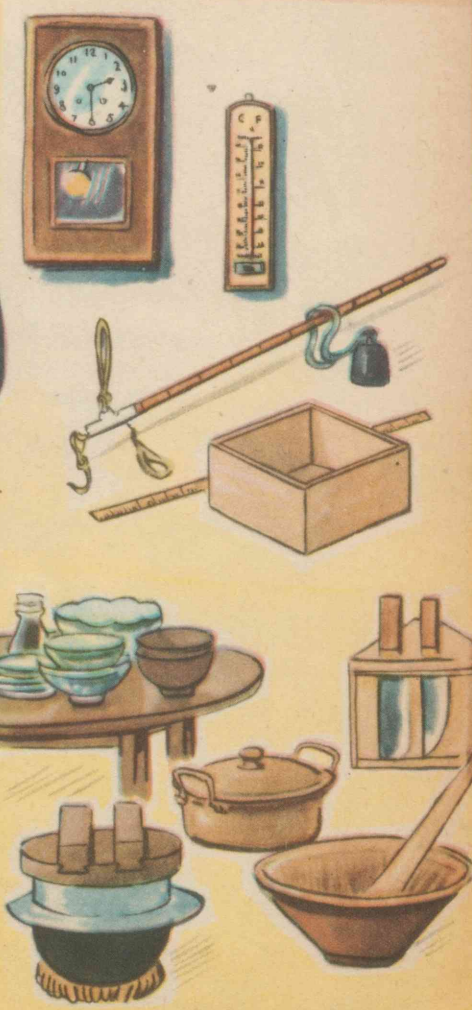
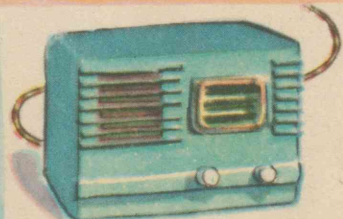
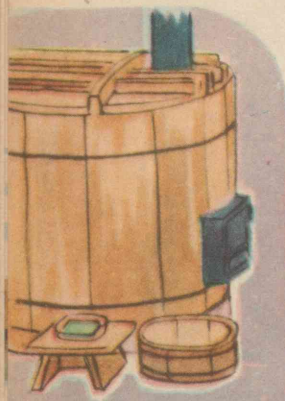


ふるから あがって
ひとやすみ、
たうえ すました
たんぼから
かえるの こえも
にぎわしく、
月よの かぜが
ふいてくる。

おうちの とうぐ



おうちには、いろいろな
 とうぐが あります。
 どんな とうぐが あるか、
 どんな ときに つかうか、
 しらべて みましよう。



山のぼり

にいさんと、山へのぼりました。とおくに、うみが
みえました。きしゃが おもちゃの ように、ちいさく
みえました。

山は おうちから みえていたのに、きてみると、
おうちは みえませんでした。

たかいと おもって きたら、まだむこうに、もっと
たかい 山がありました。

「おうい」というと、
むこうのほうでも、
「おうい」といいます。

なもしらない こどりが、
あちこちに、ないて、いました。
すずしい かぜもふいて、
たいそう よい きもちでした。

たべもの



なつの くさ

のげし

みやこぐさ

ゆきのした

おどぎりそう

ぢしぱり

ははこぐさ
(ほうこぐさ)

のあざみ

いたどり

からすのえんどう

げんの
しょうこ

かたばみ

たがらし

どくだみ

はっか

しろつめくさ

ぐらじおらす

じぎたりす

とりかぶと

どくぜり

やぐるまぎく

はなしょうぶ

けいとう

きつねのぼたん

きんぼうげ

むらさきつゆくさ

ひなげし

どくうつぎ

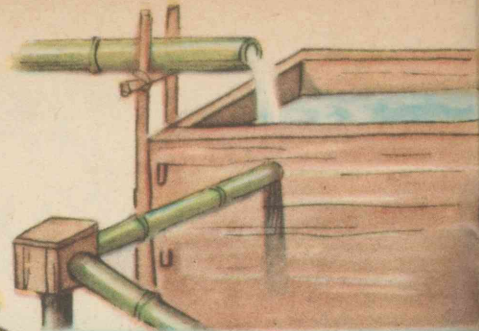
たけにくさ



水あそび



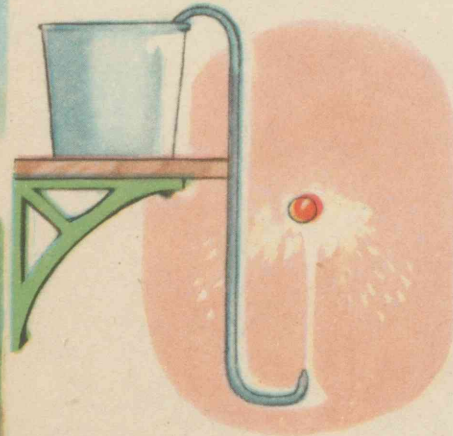
にいさんの ぽんぷは、
たかく あがりますね。



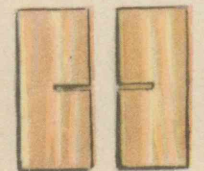
こうえんの ぶんすい



すいどうの ちよすいち



ふうせんむし

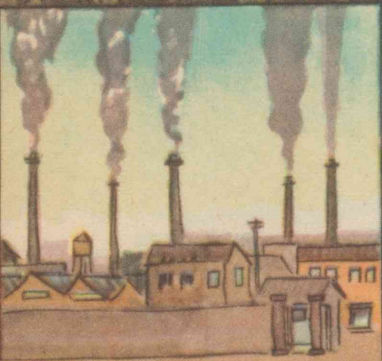


たいふう



つよい たいふうが
くると、たてものや
さくもつを いためます。

かぜの
つよさの
きめかた



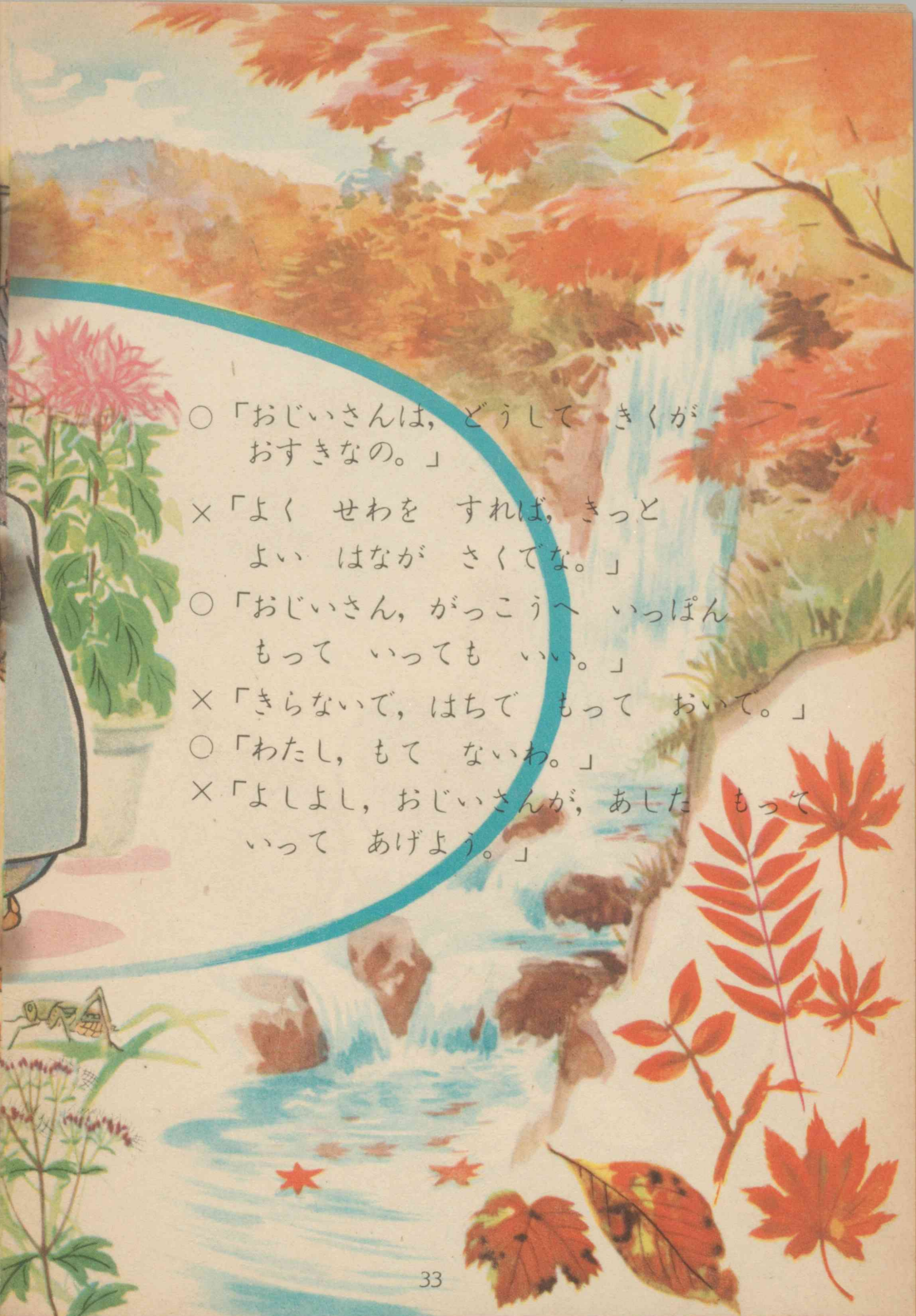
たいふうがくると、
たいてい おおあめが
ふりますから、
川の 水が
きゆうに ふえます。



あきの ころ



- 「おじいさんは、どうして きくが おすきなの。」
- × 「よく せわを すれば、きっと よい はなが さくてな。」
- 「おじいさん、がっこうへ いっぽん もって いっても いい。」
- × 「きらないで、はちで もって おいて。」
- 「わたし、もて ないわ。」
- × 「よしよし、おじいさんが、あした もって いって あげよう。」



おほしさま



一ばんぼし みつけた。
どっちの ほうに みつけた。
にしのお山の そら あすこ、
大きな よいの みょうじょうさん。

にいさん おしえた 七つぼし、
ひしゃくのかたちの 七つぼし、
はしの 二つを みとおして、
そらそら、あれが きたの ほし。

おほしさんが どんた。
すうっと、どんた。
どこから きたのか わからない。
あっと いうまに、きえました。

きのことり



べにてんぐだけ



つちかぶり

たまごてんぐだけ

まつたけ

しめじ

しょうろ

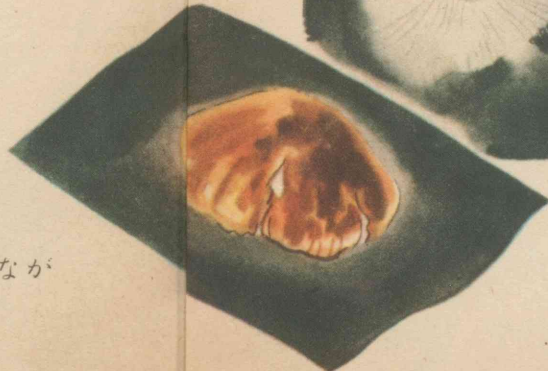
きしめじ

ほうきたけ

しいたけ

はつたけ

あしなが



しいたけつくり



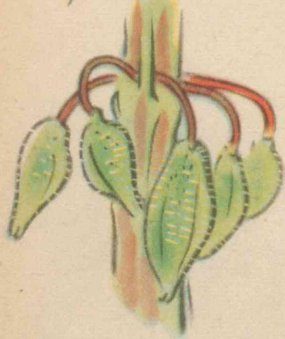
たねの ちりかた

とりが 木のみを
たべると、たねは
どうなるでしょう。

だいず



ほうせんか



ほうせんかの みが
きいろになったとき、
ゆびでつまんで、ごらんささい。

けさ にわに でて
みると くりが あちら
こちらに、おちて いま
した。
ゆうべ かぜが、つよく
ふいたので、とおくのくさ
の中にも ありました。

ちって しまわない
うちに、あさがおの
たねを とって おきま
しょう。

ふくろに 花の えを
かいて、その中に しま
って おきましょう。



かえて

まつ

せんだんぐさ

たんぽぽ

あおぎり



いのこずち



ねすびとはぎ

きんみずひき

やぶじらみ

とりの なかま

とりは なれると、
人をおそれなくな
ります。かわいがって
だいじにして やりま
しょう。



もず

しじゅうから

めじろ

かなりや

やまがら

こまどり

ぶんちょう

うぐいす

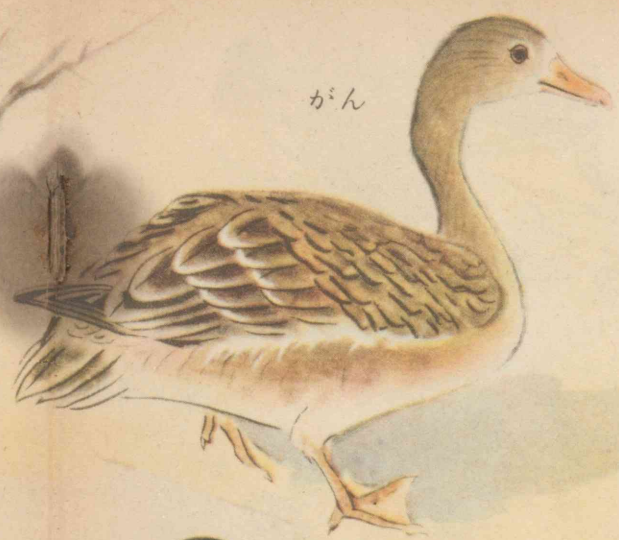
まひわ

かも

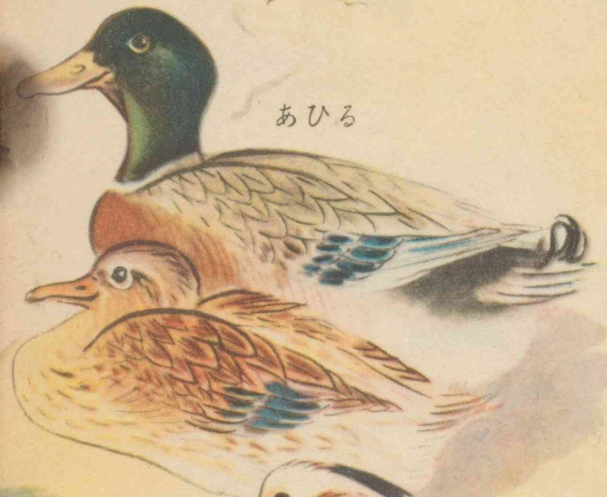
うずら

ひよどり

がん



あひる



おしどり



とりいれ

いねがよく
みのりました。

わたくしたちも、てつだって
とりいれましょう。

ぼくも、もみの
かずを、しらべま
しょう。



だいず

あわ

ひえ

あずき

きび

おかあさん、
ひとかぶにな
んぼんうえたの

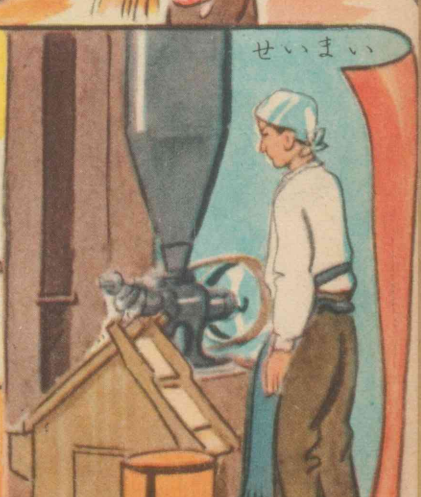
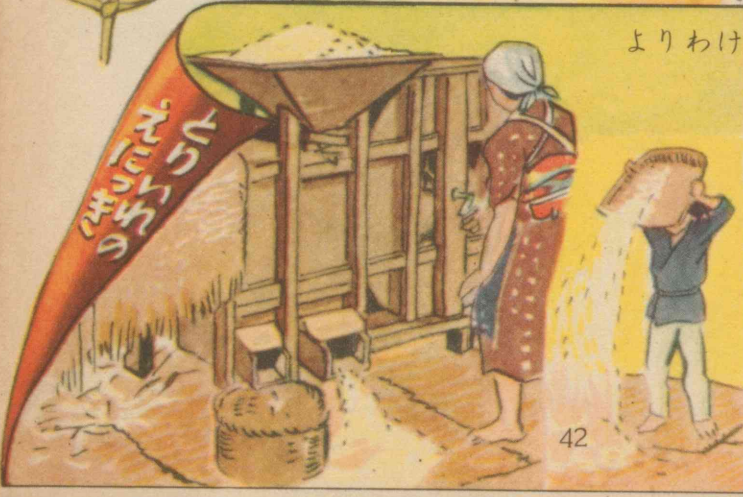


よりわけ

かんそり

もみすり

せいまい



のうかの どうぐ



のうかには、たくさんの
どうぐが あります。
おなじ しごとをする
どうぐにも、かたちの
ちがったものが、いろ
いろあります。



これらの どうぐを、
どのように つかって
いるか、しらべて
みましょう。



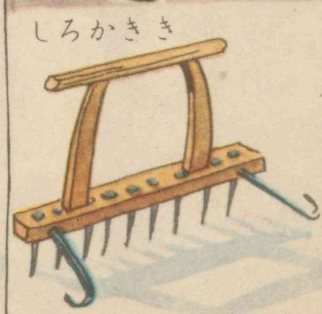
のこぎり
おの



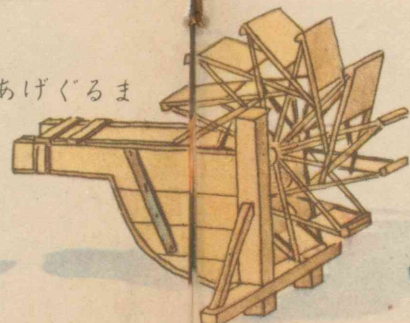
わらうちきかい



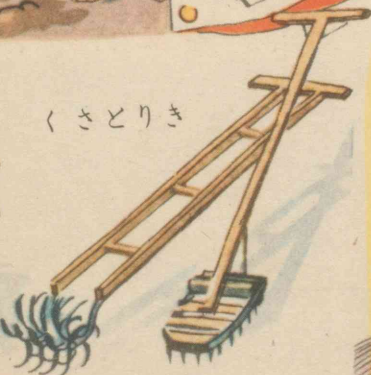
なわないきかい



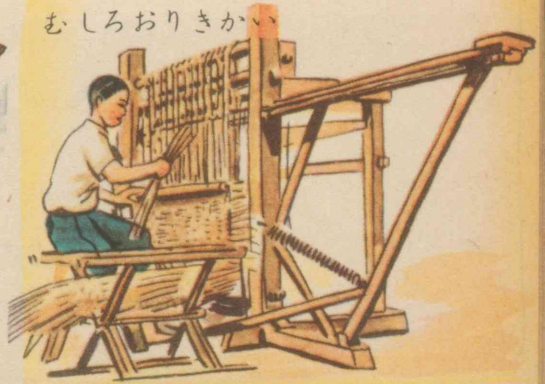
しろかきき



水あげぐるま



くさとりき



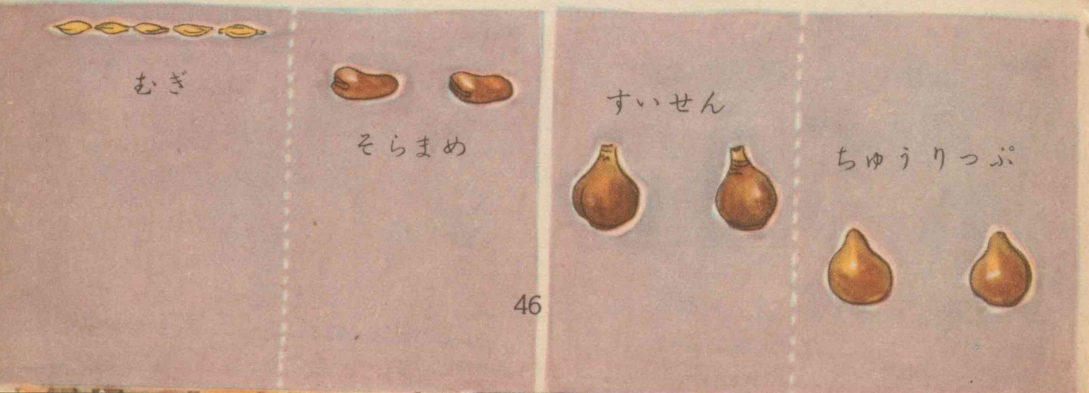
むしろおりきかい

きゅうこんうえ



たねの まきかた

きゅうこんの うえかた



こえた つち

つみごえ

こいし



ひと月で、どれだけ のびるでしょう。



のりものの はやさ



ひこうき

じどうしゃ

じてんしゃ

きしゃ

きせん



わたしの
すきな もの
らくな もの、
ぼくの
すきな もの
はやい もの。

きかいの ちからで
じゆうにうごき、
ゆれも すくなく
やのように
はしる。

つぎつぎ できる
はやい もの、
きけんの
ない ように
きをつけよう。

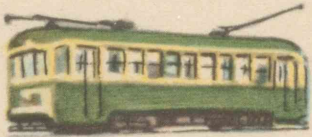


きかいはこぶか

きしゃ



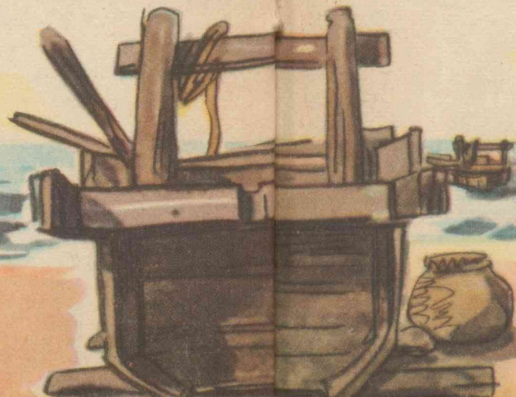
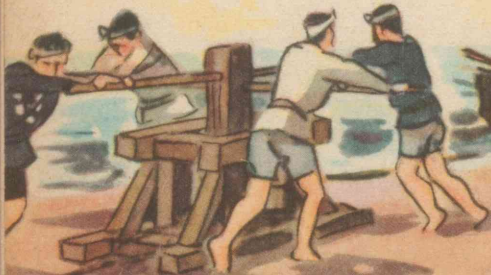
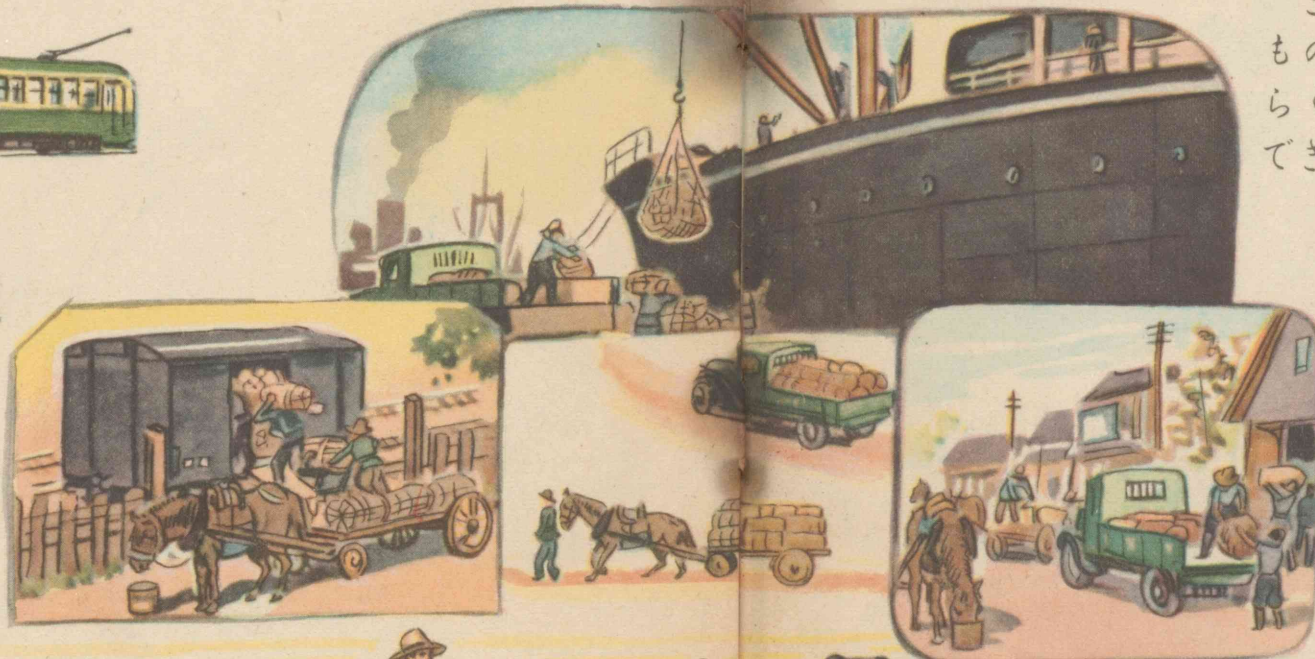
てんしゃ



バス



きかいをつかうと、大きなものや、おもいものでも、らくにはやく、はこぶことができます。

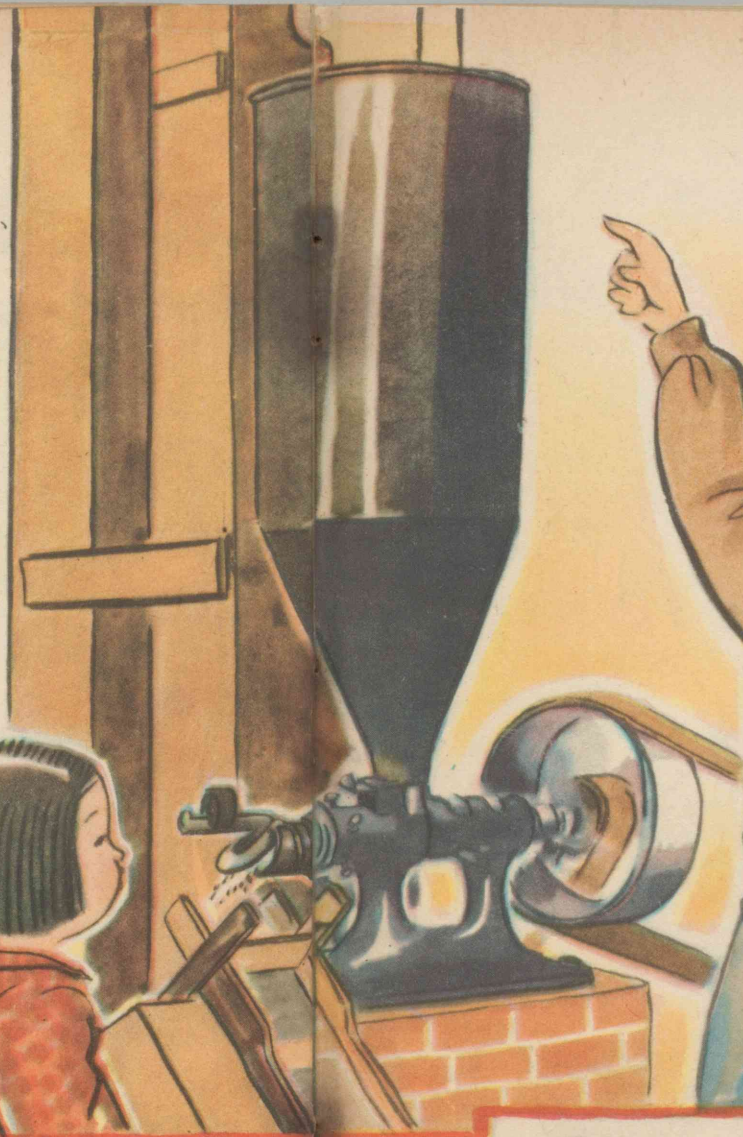
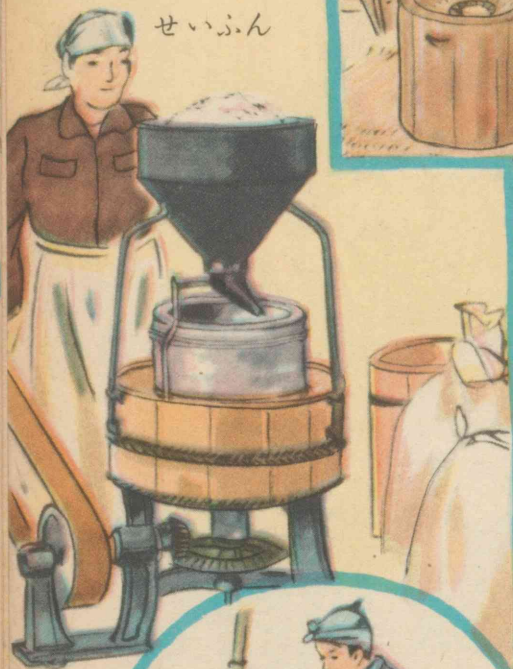


きかいはたらき



せいまい

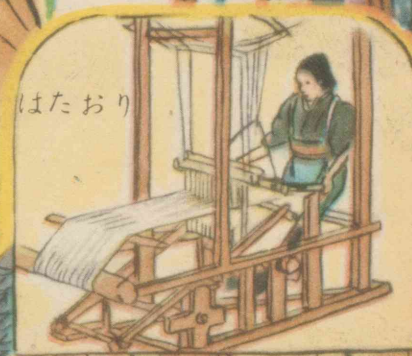
せいふん



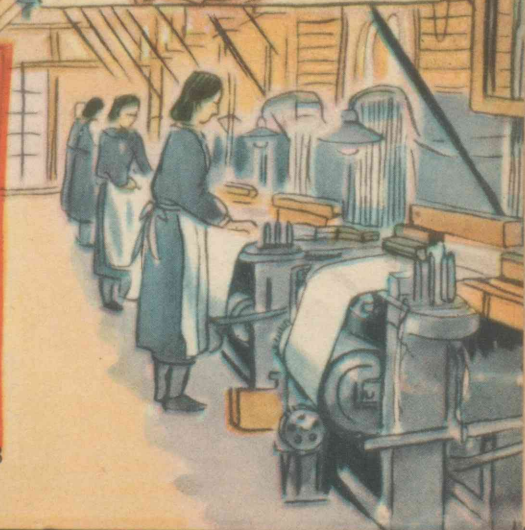
さいほう



はたおり



せいざい



火

わたくしは 火です。

ひとは、一日も、わたくしなしでは、こまります。



わたくしは、いろいろな もので、つくれます。



わたくしは、くうきが すきです。



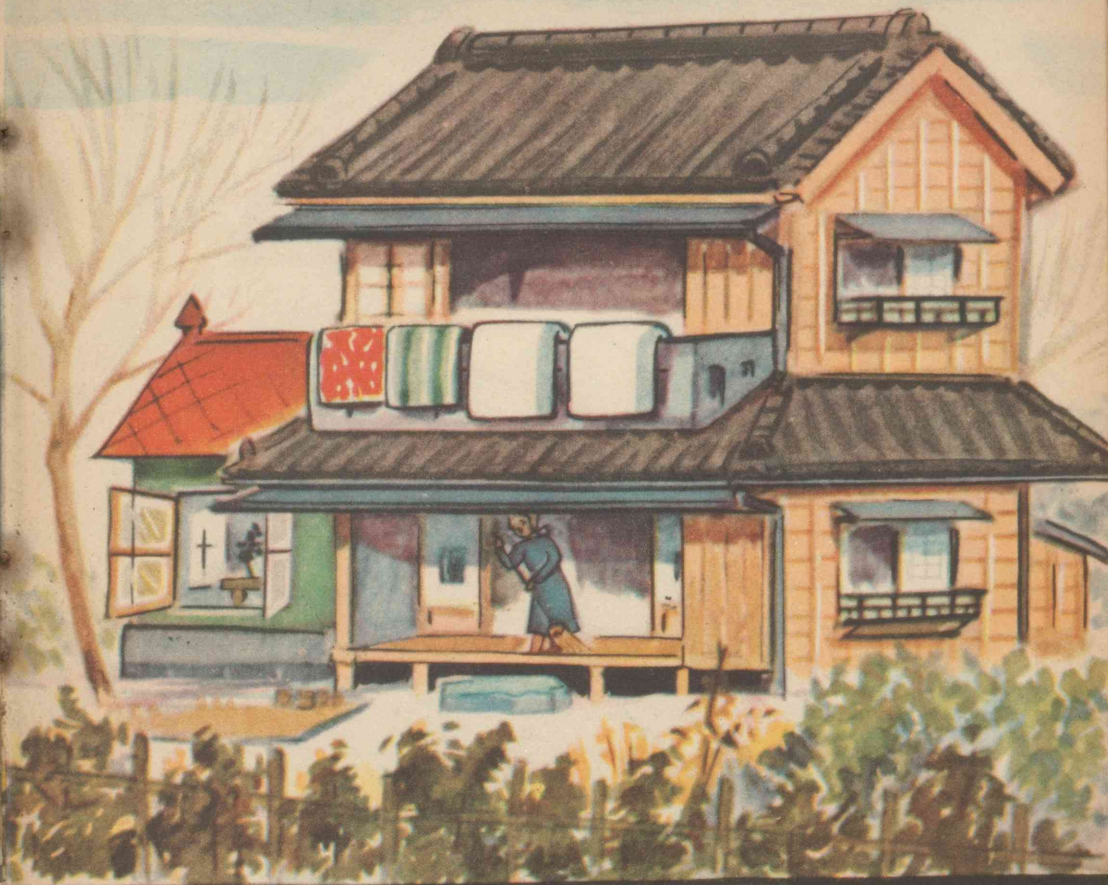
わたくしは、たいていのものを、もやします。

と も の じ か

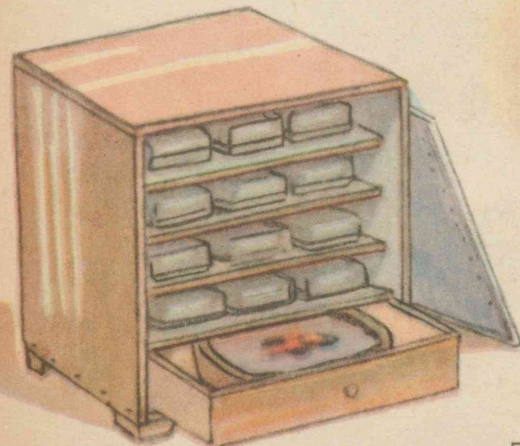
ひあそび	こたつ	でんおつき	ろうでん	えんとう	たばこ	はい	かまど	たきび
Shortest bar	Short bar	Short bar	Short bar	Short bar	Medium bar	Medium bar	Medium bar	Tallest bar

冬の えいせい

くうきの いれかえ



おべんとうぬくめ



56

ほどよい
しめり



よいしせい

うがい



57



お正月



◎ しょくぶつです。

- 1 木ですか。 ◎木では ありません。
- 2 くさの るいですか。 ◎そうです。
- 3 たべられますか。 ◎たべられます。
- 4 にて たべるのですか。 ◎にても けっこうです。
- 5 お正月に たべますか。 ◎たべます。

わかりました。



ちやわん	はし	かまぼこ
------	----	------

かみ	すすり	ふで
----	-----	----



お正月

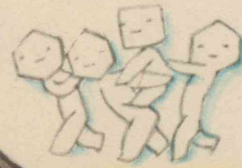
ゆきふり



はなびら ひらひら
ぼたんゆき、
とらえて みたが
もう いない。
てぶくろ した こに
つかまった。
ふってる ちらちら
こなゆき、
田にも まちにも
つもらない。
かれはの ふとんに
のっていた。



おけに まっしろ
ゆきごはん、
おしおを 入れて
かきまぜて、
こおりの ごちそう
つくりましょう。



冬の いきもの

はだかの 木のえだ おってみた、
なかに みどりの かわがある、
やっぱり いきて いるのだね。

みちの みぞぎわ ほってみた、
しろい ひげねが みえてきた、
やっぱり くさも いきている。

おとりさん はたけを ほっていた、
なにか いたぞと しろいもの、
おやおや かえるだ いきている。

いけの こおりを こわしたら、
さっとうごいた うおの かげ、
さかなも 冬は つめたからう。





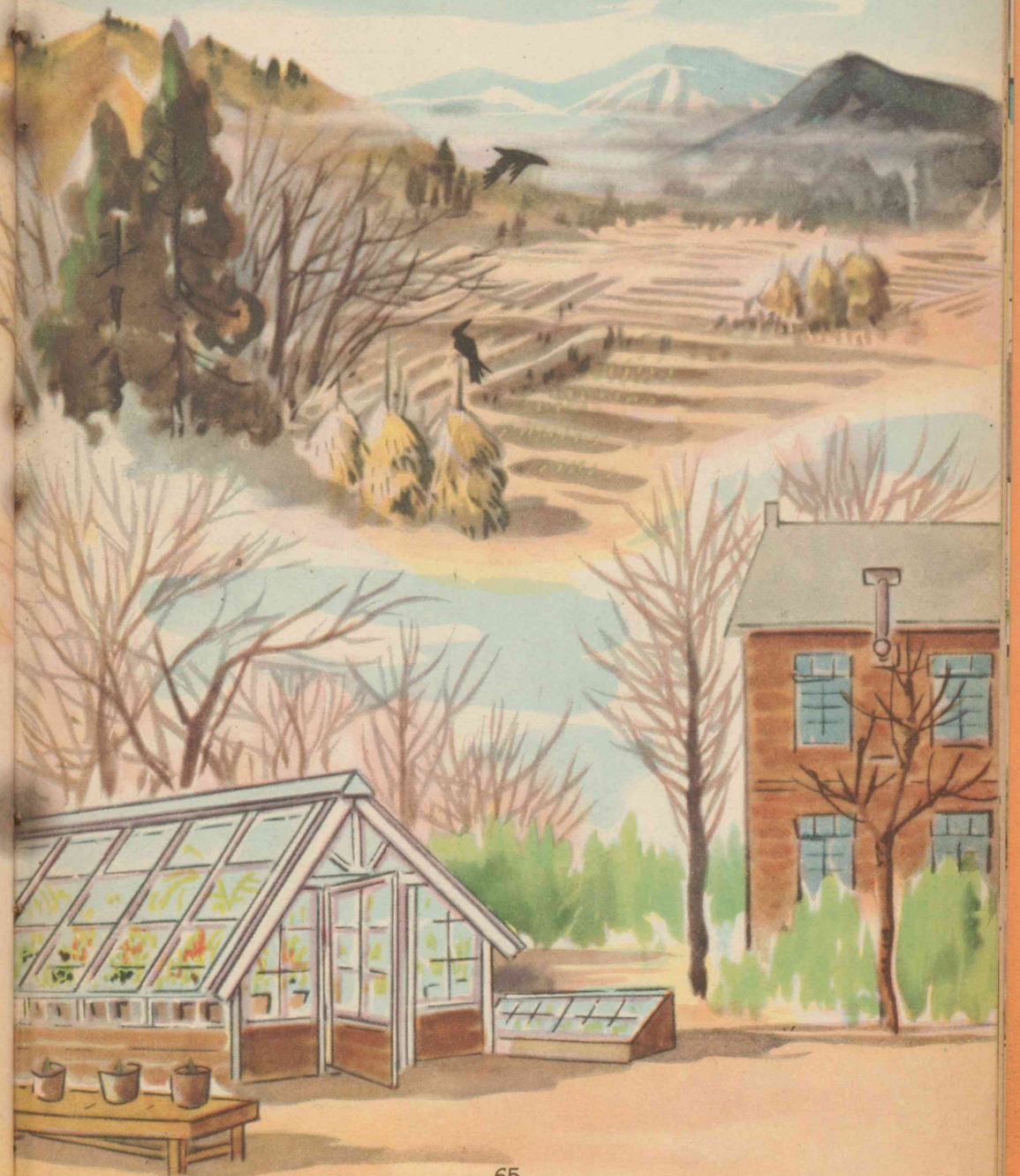
きょう、せんせいと、の山
のかんさつに、でました。
とおくの山は、ゆきて、まっ
しろでした。

みちのくぼみには、こお
りがはっていましたが、川
には、こおりがはっていま
せんでした。

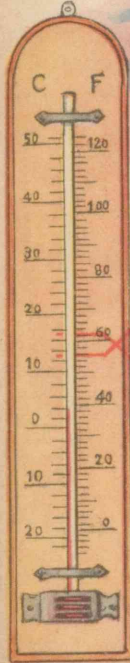
あさ、がっこうへくるときには、
へいやわらたばの上に、しもが
あったのに、もうきえていま
した。

日かげのみちをとおるときに
は、しもばしらをふむのが、ゆか
いてした。

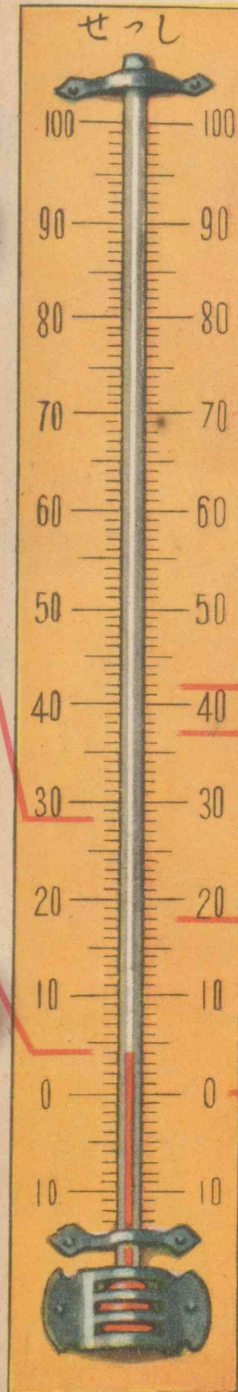
おひやくしょうさんたちは、つみ
ごえをつくったり、なえどこの
したくをしたりしていました。



おんどけい



いろいろのおんどを
はかってみましょう。
きょうしつのおんど
は 何度ですか。
あさと ひるとでは、
どのくらい ちがいますか。



にえゆ



ゆでたまご



おふろ



たいおん



びょうしつ

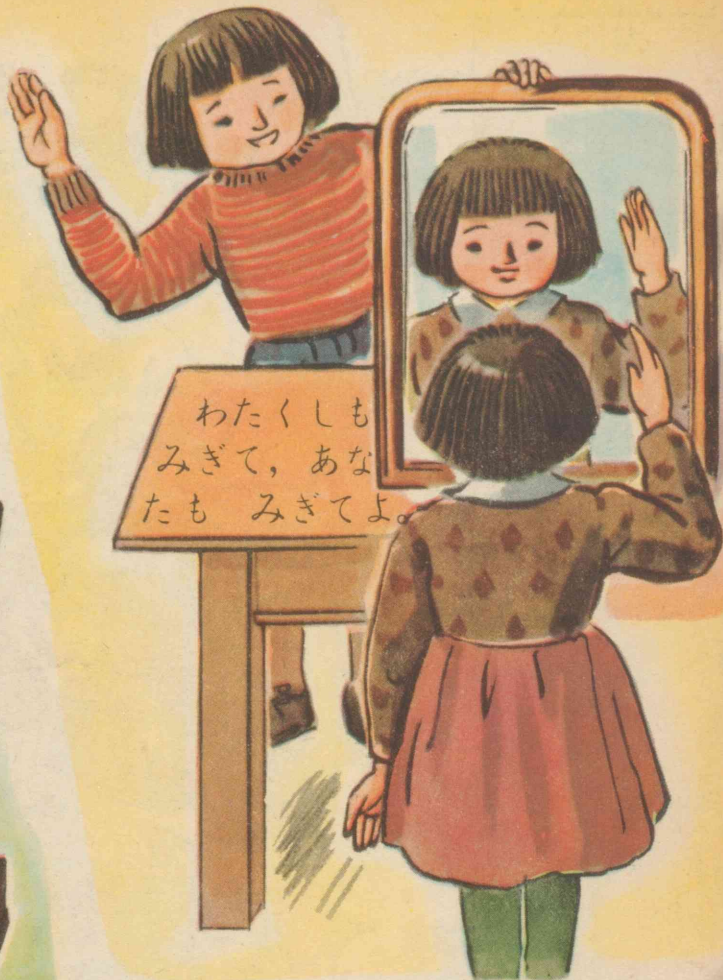


こおりみず

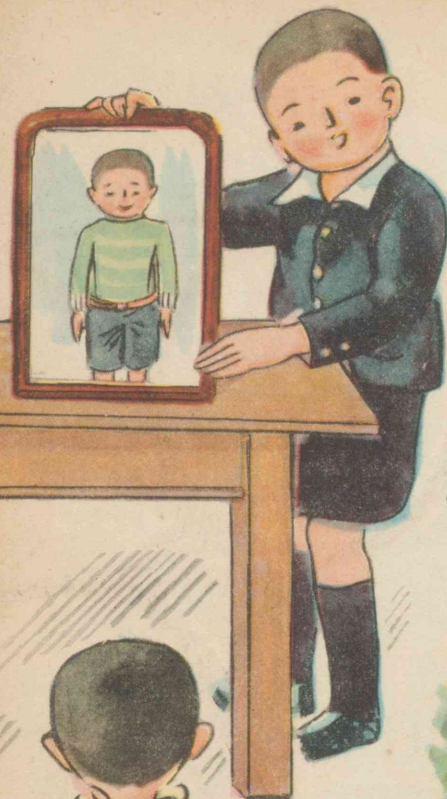


ゆきどけ

かがみ



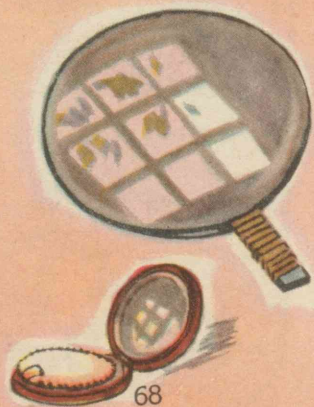
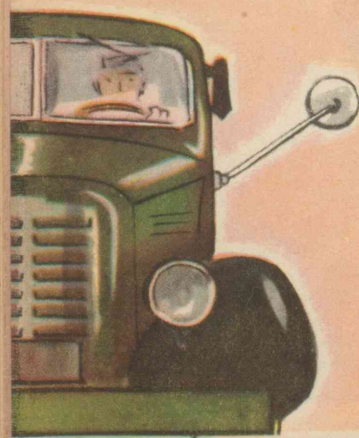
まえも
うしろも
みえるわ。



ひかりがあ
たったでしょう。



もっと
うしろへさ
がったら、う
あしまでう
つるかしら。



れんず

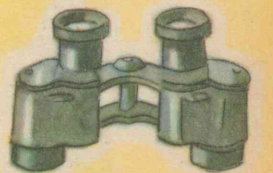
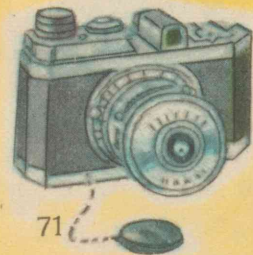
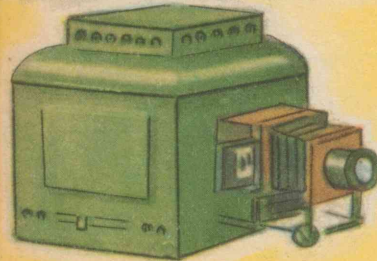
ものを むしめ
がねで みると、大
きく みえます。



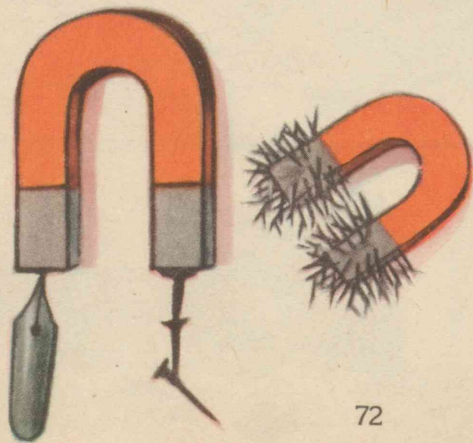
おじいさんの
めがね

にいさんの
めがね

おじいさんの
めがねを 目か
らすこしは
なして、とおく
をみると さ
かさに見えま
す。にいさんの
めがねでは、さ
かさには みえ
ません。



じしゃく
 じしゃくには、どんなものが つきますか。
 なにか つきやすいか、しらべて みましょう。
 じしゃくの どのへんに、よく つきますか。
 じしゃくをつかって、いろいろな あそびを
 して みましょう。



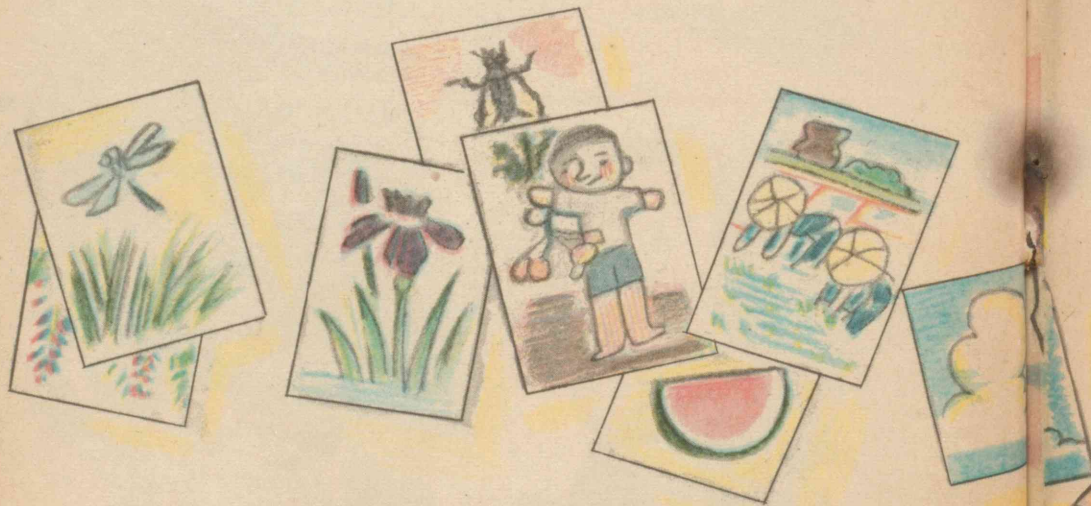
きせつ あて

これから、きせつ あて
を、はじめましょう。
あなたから、はじめて
ください。

これは ちょうちょです。

きせつは、
いつですか。

はるです。





ぼくの せいり

このえは、いね・もぎ・さつまいも・じゃがいも・ほうせんか・すいせんの えまきものです。

9 月	10 月	11 月	12 月



ぼくたちも、2ねんせいになって、しらべたことを、せいりしてみましよう。

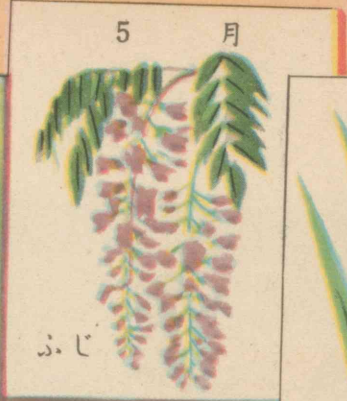
月	6 月	7 月	8 月
月	1 月	2 月	3 月

わたくしの せいら

花ごよみ



さくら



ふじ



あやめ



あさがお



かんな



花の しりとり



はす

すみれ

虫ごよみ

はるの虫
もんしりとり



虫の しりとり



こおろぎ



れんげそう

うめのはな

なでしこ

こすもす

なつのもし

あきのもし

ふゆのもし



せむ



すずむし



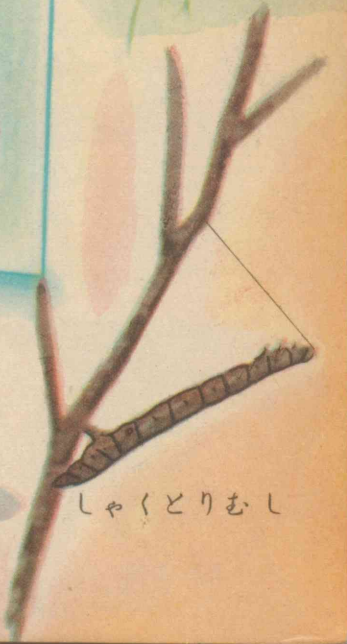
みのむし



ぎんやんま



まつむし



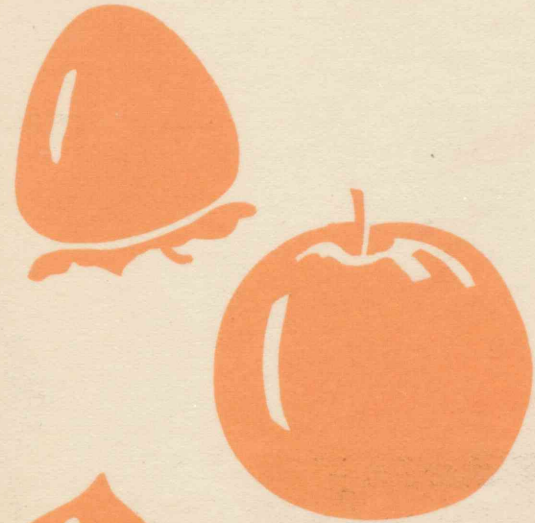
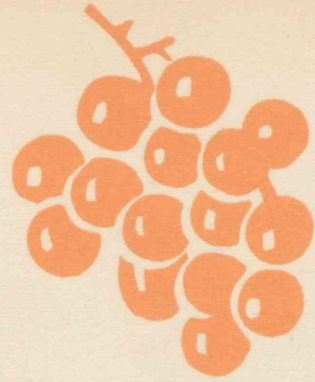
しゃくとりむし

きせつ あわせ 右の えと 左の 'えを, きせつを
かんがえて, つなぎましょう。



この本のえをかかれたひと

林 義 雄
上 田 三 郎
天 木 茂 晴



あたらしいりか 小学二年
Approved by Ministry of Education (Date, Aug 12 1950)
昭和25.8.12 文部省検定済 小学校理科用
昭和25年12月25日印刷
昭和25年12月30日発行
著 者 代 表 者 内 藤 卯 三 郎
発 行 者 啓 林 館
大阪市天王寺区大道3の180
代 表 者 原 野 伸 次
印 刷 者 集 西 堂 印 刷 株 式 有 限 公 司
大阪市阿倍野区飯町6-2-0
代 表 者 西 村 重 太 郎
発 行 所 新 興 出 版 社 ・ 啓 林 館
大阪市天王寺区大道3の180
電 話 番 号 3918-6312 振 替 大 阪 21295



KEIRINKAN

広島大学図書

0130449949

